

京都市交響楽団

2013 7/19 

午後7時開演
(午後6時開場)

京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分

第570回定期演奏会

The 570th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra
Friday, July 19, 2013 / 7:00PM Kyoto Concert Hall

開演前(午後6時40分ごろから)は「ブレイク」でお楽しみください。

「ブレイク」はホール・ステージ上にて開催します。



スペインの気鋭、情熱の指揮者パブロ・ゴンザレス VS 現代最高のヴィルトゥオーゾ、ワディム・レーピン!

シベリウス:ヴァイオリン協奏曲二短調op.47
ショスタコーヴィチ:交響曲第10番ホ短調op.93

Sibelius : Concerto for violin and orchestra in D minor op.47
Shostakovich : Symphony No.10 in E minor op.93

入場料 **S** ¥4,500 **A** ¥4,000 **B** ¥3,500 **P** ¥2,000 (舞台後方席)

指揮: パブロ・ゴンザレス

Conductor: Pablo GONZÁLEZ

ヴァイオリン: ワディム・レーピン

Violin: Vadim REPIN

©Gela Megrelidze

- ◆当日残席がある場合のみ発売: 学生券&後半券 S¥2,000 A¥1,500 B¥1,000
※学生券は開演1時間前から(学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了(後半開始)まで発売(学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。
- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。
(お子様お1人につき1,000円/7月12日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。
京響(075-711-3110)までお問い合わせください。
- ◎お問い合わせ: 京都コンサートホール(075)711-3231・京都市交響楽団(075)711-3110
- ◎ホームページ: <http://www.kyoto-ongeiibun.jp/kyotoconcerthall/> (京都コンサートホール)
<http://www.kyoto-symphony.jp/> (京都市交響楽団)
- ◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。
- ◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。
- ◎プレイガイド(電話予約)
 - ・京都コンサートホール(075)711-3231
(ホームページからオンラインチケット購入もできます)
 - ・チケットぴあ(0570)02-9999 Pコード186-441
 - ・ローソンチケット(0570)000-407 Lコード59792

主催: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市 

協賛: **ローム株式会社** 協力: 株式会社ドルチェ楽器 後援: (株)エフエム京都

発行: 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



京都市交響楽団 第570回定期演奏会

The 570th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

2012年7月NHK響で輝かしい日本デビューを飾った、バルセロナ響を率いるスペインの指揮者パブロ・ゴンザレスが、情熱のタクトでショスタコーヴィチの大曲をお聴かせします。
世界中の聴衆を魅了してやまない、名実ともに現代最高のヴァイオリニスト、ワディム・レーピンが奏でる北欧の抒情に彩られた大興奮のシベリウスにも、乞うご期待！



©D.Vass

指揮 パブロ・ゴンザレス Conductor: Pablo GONZÁLEZ

1975年スペインのオヴィエド生まれ。ロンドンのギルドホール音楽演劇学校で学ぶ。ドナテラ・フリック指揮者コンクールに優勝後、ロンドン響とボーンマス響の副指揮者およびグラナダ市管の首席客演指揮者を務めた。2006年、第8回カダケス国際指揮者コンクールでも優勝。2010年9月よりバルセロナ交響楽団の音楽監督に就任、数々の定期演奏会の名演に加え、レコーディング、ヨーロッパ・ツアーも敢行し、非常に高い評価を受けている。また、スペインの主要オーケストラでの客演に加え、ロンドン響、ウィーン・トーン・キュンストラエ管、トゥールーズ・キャピトル国立管、ローザンヌ室内管、バーゼル響、ストラスブルク・フィル、スコットランド室内管、ネザーランド・フィル、ワルシャワ・フィル、シウトゥトガル室内管、ザールブリュッケン・カイザースラウテルン・ドイツ放送フィル、NHK響等に客演。オペラ指揮者としてもグラインドボーン・オン・ツアー(『愛の妙薬』)、バルセロナのリセウでの数々のプロダクション、オヴィエド(『人間の声』、『ラ・ボエーム』)、サン・セバスチャン(『カルメン』)、バルセロナ響とコンサート形式(『ダフネ』、『魔笛』)などで指揮している。

2012/13年シーズンもグラス響を指揮してのアメリカ・デビュー、そのほかロイヤル・リヴァプール・フィル、リエージュ・フィル、ルガーノ・スイス・イタリア放送響、スコットランド室内管、京響等への客演、その先もワルシャワ・フィル、ネザーランド・フィル、ボーンマス響等が決まっている。

共演したソリストにはアンネ=ゾフィー・ムター、マキシム・ヴェンゲーロフ、トウルス・モルク、ニコラ・ベネディッティ、ルノー・カプソン、ヴィヴィアン・ハグナー、ヴィクトリア・ムローヴァ、アルバン・ゲアハルト等の名があげられ、たびたびの共演を望まれている。



©Gela Megreidze

ヴァイオリン ワディム・レーピン Violin: Vadim REPIN

音楽こそがワディム・レーピンの母国語である。そのヴァイオリンから豊かな音色のパレットを創り上げる驚くべき才能、眼も眩むばかりのテクニック、そして詩的で繊細な音楽性、世界中の聴衆を魅了してやまない真のヴィルトゥオーゾである。

1971年シベリア生まれ。5歳でヴァイオリンをはじめ、その6ヶ月後にはステージで初めての演奏を果たした。11歳でヴィエニャフスキ・コンクールで金メダルを獲得、モスクワとサンクトペテルブルクでリサイタル・デビュー。1985年には14歳にして東京、ミュンヘン、ベルリン、ヘルシンキ、翌年にはカーネギーホールにデビューしている。そしてさらに2年後、17歳でエリザベト王妃国際コンクールに優勝、その後もベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ボストン響、シカゴ響、クリーヴランド管、スカー・フィル、ロンドン響、ニューヨーク・フィル、ロサンゼルス・フィル、サンフランシスコ響、パリ管、ロイヤル・コンサート・ヘボウ管、イスラエル・フィル、ロッテルダム・フィル、ハンブルク北ドイツ放送響、サンクトペテルブルク・フィルをはじめ世界のトップ・オーケストラとトータル、メータ、ムーティ、ブーレーズ、ヤンソンス、小澤、ゲルギエフ、シャイー、アシュケナージ、チョン、ピシュコフ、コンロン、デュトワ、ナガノ、ドホナーニ、エッセンバツハ、フェドセーエフ、ガッティ、ユロフスキ、ロジェストヴェンスキー、ネゼ=セギャン、テミルカーノフ、ジンマン、ティーレマン等の指揮で次々に共演、BBCプロムス、ルツェルン、ヴェルビエ、ラインガウ、ラヴィニア、タンブルウッド、グシュタードなどトップクラスの音楽祭にも定期的に招聘されている。リサイタルも世界各地で行っており、近年ではザルツブルク音楽祭、ウィーン、ジュネーヴ、ロンドン、ブリュッセル、パリ、ルクセンブルク、ミラノ、ニューヨーク、ワシントン、東京を含む世界各国の聴衆を熱狂

させている。また室内楽の活動にも精力的で、アルゲリッチ、キーン、マイスキーらとも定期的に共演している。CDリリースも多く、ドイツ・グラモフォン、ワーナー等から協奏曲やソノ、室内楽などいづれも評価が高く、次々と賞を獲得している。2010年2月フランスで最も権威ある“Victoire d'honneur”を受賞。同年12月には芸術文化勲章受賞も果たした(“Chevalier de l'Ordre des Arts et Lettres”)。ワディム・レーピンは1743年作のグアルネリ・デル・ジェズ「ボンジュール」を使用している。



京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団(京響)は、1956年に創立以来、我が国を代表する日本唯一の自治体直営オーケストラとして成長を遂げてきた。最近では、楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏などにも積極的に取り組み、07年「第25回京都府文化賞特別功労賞」、「京都創造者大賞2007」受賞。08年4月からは、第12代常任指揮者に広上淳一、桂冠指揮者に大友直人が就任し、09年は「スプリング・コンサート」や「オーケストラ・ディスカバリー」など新企画で注目を集めた。10年11月に広上淳一指揮による定期演奏会のライブ録音CD第1弾を発売し、12年2月にはライブ録音CD第2弾を発売。半世紀という節目を経て、「京響」は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進をはかっている。

次回
予告

2013年 5/24(金)から発売！



©K.Miura

第571回定期演奏会

広上淳一のドヴォルザーク「スターバト・マーテル」
～永遠なる安らぎを祈る、悲しみの聖母の魂の歌～

日時：2013年8月11日(日) 午後2時30分開演

会場：京都コンサートホール

指揮：広上 淳一(常任指揮者)

独唱：石橋 栄実(ソプラノ) 清水 華澄(メゾソプラノ)

大槻 孝志(テノール) 久保 和範(バスバトロン)

合唱：京響コーラス

曲目：ドヴォルザーク：スターバト・マーテルop.58

入 場 料

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

次回
予告

2013年 6/16(日)から発売！



©Marco Borggreve

第572回定期演奏会

ドイツが誇る円熟の名匠ボンマーのベートーヴェン「英雄」
&天性の至芸を聴かせるピアノ界の若き大器、小菅優！

日時：2013年9月6日(金) 午後7時開演

会場：京都コンサートホール

指揮：マックス・ボンマー

独奏：小菅 優 (ピアノ)

曲目：メンデルスゾーン：序曲「フィンガルの洞窟」op.26

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第1番 八長調op.15

ベートーヴェン：交響曲第3番 変ホ長調「英雄」op.55

入 場 料

S ¥4,500 A ¥4,000 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)